

ちゅうおう

第211号 2025年



長崎県県央振興局農林部（中央家畜保健衛生所）

〒854-0063 長崎県諫早市貝津町3118

TEL 0957-25-1331（代）（休日、夜間も携帯電話に転送されます）

FAX 0957-25-1332

E-mail 衛生課：s34500@pref.nagasaki.lg.jp

防疫課：s34510@pref.nagasaki.lg.jp

検査課：s34520@pref.nagasaki.lg.jp

[防疫課]

E-mail



[家保HP]



HP：<http://www.pref.nagasaki.jp/section/ko-chuokatiku/index.html>

[目次]

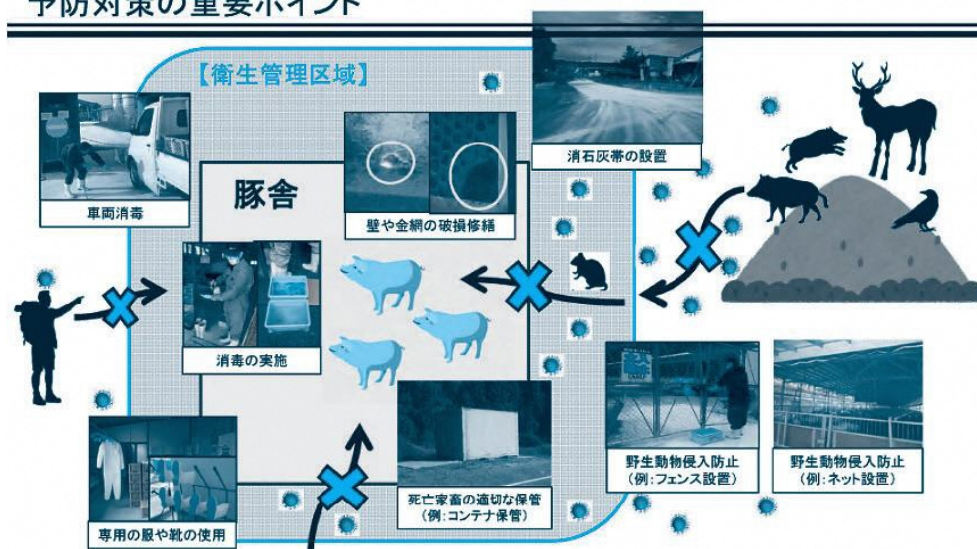
- P.1… 表紙(鯉のぼり 真崎川)
- P.2… 豚熱に感染した野生イノシシが宮崎県でも確認されました！！
予防対策の徹底を！
- P.3… 【要注意】韓国で口蹄疫発生!!
高病原性鳥インフルエンザは令和6年度シーズンも発生が相次ぎました
- P.4… 家畜人工授精の全国発表で最優秀賞受賞！
令和6年凍結精液利用状況について
- P.5… 令和6年度病性鑑定実施状況
早めの暑熱対策準備を心がけましょう
家畜排せつ物の適正管理をお願いします
- P.6… 令和7年度長崎・県央地域家畜伝染病防疫対策勉強会を開催
令和7年度職員紹介

豚熱に感染した野生イノシシが宮崎県でも 確認されました!! 予防対策の徹底を!

令和7年2月に、松浦市福島町で発見された野生イノシシにおいて、豚熱（CSF）が県内で初めて確認されました。さらに、同市今福町で発見された野生イノシシからも感染が確認されており、4月25日現在、8件の事例が確認されています。

また、佐賀県においては唐津市、伊万里市、武雄市大町町などで81件、宮崎県においても都城市で4月11日に1件の野生イノシシで豚熱の陽性事例が確認されています。今後、どこの県でも野生イノシシの陽性事例が発生する可能性があります。

予防対策の重要ポイント



農場にウイルスを侵入させないために、上図の予防対策の重要ポイントを参考に、日常の飼養衛生管理基準の遵守の更なる徹底に努めてください。このことは、ワクチンがないアフリカ豚熱予防対策にも通じます。また、豚熱ワクチンは、適切な接種に努めてください。

なお、異常豚を発見した場合は、すぐに当所へご連絡ください。

○令和6年度の野生イノシシサーベイランスの結果について

本県では市町や猟友会等の関係機関からご協力を頂き、捕獲及び死亡野生イノシシの豚熱・アフリカ豚熱の検査を実施しています。令和6年度は県全体で934頭、管内は340頭の野生イノシシについて検査を実施し、豚熱では陽性6件、アフリカ豚熱では全て陰性を確認しています。

今後も継続して検査を行い、豚熱・アフリカ豚熱の早期摘発に努めますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

〈県内イノシシ検査状況（令和6年度）〉

地 域	計画	実施頭数	実施率
県 央	160	340	212%
県 南	50	99	198%
県 北	80	420	525%
五 島	50	17	34%
対 馬	50	58	116%
全 体	390	934	239%

〈中央家保管内イノシシ検査状況（令和6年度）〉

地 域	実施頭数	市 町	実施頭数
長崎市	99	時津町	1
諫早市	105	東彼杵町	8
大村市	79	川棚町	7
西海市	25	波佐見町	10
長与町	6	合計	340

なお、これらのイノシシについて豚疾病の浸潤状況を確認したところ、豚丹毒、豚胸膜肺炎（App）、豚繁殖・呼吸障害症候群（PRRS）が確認されました。野生イノシシが農場に侵入した場合、これら疾病の発生にもつながる恐れがありますので侵入防止対策の徹底をお願いします。

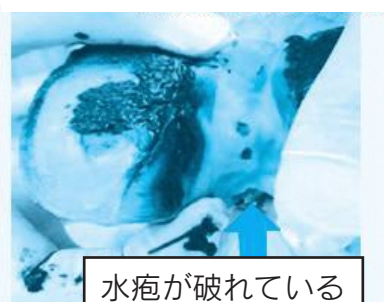
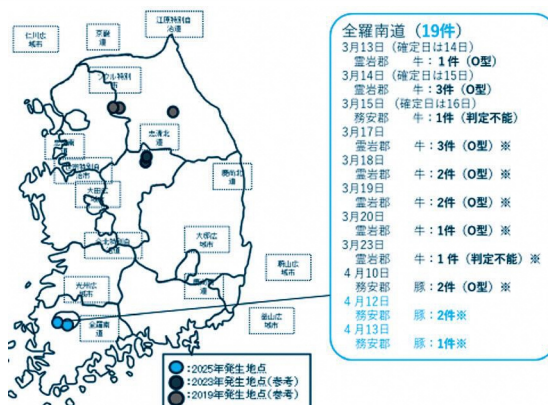
【要注意】韓国で口蹄疫発生！！

韓国で令和7年3月に1年10か月ぶりに口蹄疫の発生が確認されました。

また、中国でも発生が確認されており、現在、我が国へ侵入するリスクが極めて高い状況が続いています。

○疑わしい症状の際はすぐに通報を！！

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に泡状のよだれを流したり、口、ひづめ、乳房に水疱(水ぶくれ)ができるのが特徴です。



- ・衛生管理区域に立ち入る場合には、専用の靴や衣服を着用し、手指消毒を実施しましょう。
 - ・畜舎ごとに専用の靴または踏込消毒を設置し、使用しましょう。
- ◎効果的な消毒のポイント
- ・踏込消毒槽の消毒液は、汚れて効果が薄れるので、まずは汚れを落としてから消毒しましょう。また、消毒薬が汚れていたら、直ちに交換しましょう。
 - ・農場に出入りする車両を消毒する時は、タイヤのみを消毒するのではなく、泥よけの内側部分まで消毒し、衛生管理区域内で降車する場合は農場専用のフロアマット等の使用や車内（ハンドルやドアノブ等）の消毒を実施しましょう。
- ★ 逆性石けんやアルコールは口蹄疫の消毒薬としては不適です！
- ★ 消毒効果が弱まるので、酸性とアルカリ性の消毒薬を同時に使用しないこと！

高病原性鳥インフルエンザは 令和6年度シーズンも発生が相次ぎました

令和6～7年シーズンは、農場での発生はこれまでで一番早く確認され、さらに1月には岩手・千葉・愛知県を中心に発生が相次ぎました。特に1月の発生は、月間34事例と1月としては過去最多を記録しました。

ここ数年は、発生が相次いでいるだけでなく、シーズンの早い段階での発生がみられています。発生防止対策を徹底して来シーズンに備えましょう。

●発生防止対策のポイント

- ・外部事業者を含む農場入場時の衣服・靴の交換や消毒等を徹底（農場立入者全員）
- ・鶏舎、堆肥舎、集卵ベルトの開口部などの隙間からの野生動物侵入防止対策
- ・ウインドウレス鶏舎入気口のフィルター設置による塵埃侵入防止
- ・開放鶏舎周囲の消石灰＋散霧消毒



防鳥ネットの徹底した補修



鶏舎入気口の フィルター設置

家畜人工授精の全国発表で最優秀賞受賞！

令和7年2月14日（金）に日本家畜人工授精師協会主催で開催された発表会（東京都）において、本県代表として小柳詩織さん（諫早市小長井町 家畜人工授精師）が発表されました。今回、全国から8題の発表がありましたが、選考の結果、小柳さんが、最優秀賞である「西川賞」を見事受賞されました。

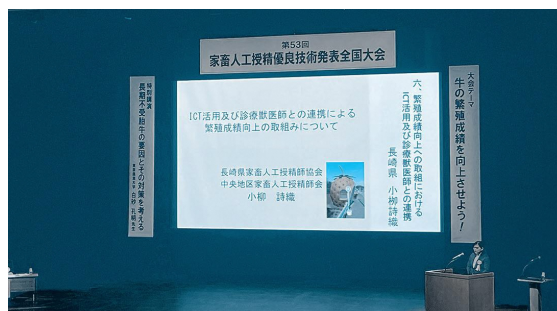
○発表演題

「繁殖成績向上への取り組みにおけるICT活用及び診療獣医師との連携」

○選考講評

地域の農場を含む繁殖情報を、ICT（情報通信技術）で一元管理すること、また通知された情報をそれぞれの農家に伝えることで、地域の繁殖成績を向上できる意識を高めた点、さらに診療獣医師と連携して飼料給与や巡回前後の繁殖成績を共有することで、発情不明牛に対して迅速かつ適切な処置ができた点など、素晴らしい取り組みの発表であったと選考委員から高い評価を受けました。

おめでとうございます！！



第53回家畜人工授精優良技術発表全国大会



「西川賞」表彰を受ける小柳詩織さん

令和6年凍結精液利用状況について

令和6年の管内凍結精液利用本数は2,742本で、そのうち長崎県有種雄牛は2,074本でした。種雄牛別利用状況ベスト10では「幸男」「勝乃幸」「金太郎3」が9位までを、長崎県有種雄牛で占める結果となりました。

〔種雄牛別利用状況〕

順位	名号	所有者	授精回数	シェア (%)	変動 (昨年順位)
1	幸男	長崎県(県有)	831	30.3	→ (1)
2	勝乃幸	長崎県(県有)	282	10.2	↑ (4)
3	金太郎3	長崎県(県有)	281	10.1	↓ (2)
4	真之介	長崎県(県有)	136	4.9	↓ (3)
5	姫晴久	長崎県(県有)	112	4.0	↑ (初)
6	弁慶3	長崎県(県有)	109	3.9	→ (6)
7	百合幸	長崎県(県有)	80	2.9	↓ (5)
8	晴太郎	長崎県(県有)	63	2.2	↓ (7)
9	美津洋	長崎県(県有)	54	1.9	↓ (8)
10	若百合	鹿児島県	54	1.9	↓ (9)

〔所有者別利用状況〕

所有者	授精回数	シェア (%)
長崎県(県有)	2,074	75.7
鹿児島県	310	11.3
家畜改良事業団	271	9.9
鳥取県	42	1.5
その他	45	1.6
計	2,742	100

令和6年度病性鑑定実施状況

令和6年度の検査依頼は、牛104件、馬1件、豚80件、鶏64件、いのしし135件の合計384件でした。主な疾病は表のとおりです。

()は件数

畜種	診断名
牛	流行性出血病ウイルス血清型6 (EHDV6) の関与を疑う(3)、BRDC(牛マンヘミア症)(3)、アイノウイルス感染症(1)、牛クロストリジウム・パーフリンゲンス感染症(1)、肝膿瘍(1)、細菌性流産(1)、誤嚥性肺炎(1)、先天奇形(1)、銅中毒(1)
豚	サルモネラ症(1)、豚レンサ球菌症・豚インフルエンザ(1)、豚レンサ球菌とマイコプラズマ・ハイオリニスの混合感染による多発性漿膜炎(1)、PRDC(グレーサー病、豚繁殖・呼吸器障害症候群)(1)、豚大腸菌症(1)
いのしし	豚熱ウイルス遺伝子(野外株)及び抗体陽性(6)
鶏	鶏脳脊髄炎(を疑う)(2)、マレック病(2)、尿酸塩沈着症(2)、鶏大腸菌症(2)、鶏アスペルギルス症(1)、鶏大腸菌症・鶏アスペルギルス症(1)、鶏伝染性気管支炎(腎炎型)(1)

牛ではアイノウイルス感染症やEHDV6、豚ではサルモネラ症や豚レンサ球菌症、鶏ではマレック病や鶏アスペルギルス症などの発生が確認されました。

家畜伝染病の発生予防のため、農場へ出入りする人や車の消毒を徹底するなど、引き続き飼養衛生管理基準の遵守をお願いします。

早めの暑熱対策準備を心がけましょう

近年、県内の暑熱期の飼養環境は厳しさを増しており、暑熱ストレスによる受胎率、産卵率や泌乳量の低下等の生産性低下を防止するための対策が必要です。暑さが本格化する前に、各農場で取り組める暑熱対策を整え、大切な家畜・家きんを守りましょう。

畜舎内の温度を下げる

- ①屋根への白色系塗料(石灰等)の散布
- ②屋根に散水する(スプリンクラーの利用等)
- ③寒冷紗や植物(グリーンカーテン)で日よけ
- ④屋根や壁に断熱材を利用し、輻射熱を遮断
- ⑤クーリングパッドや細霧システムの利用

飼養管理の工夫

- ①涼しい時間帯(早朝、夕方～夜間)の給餌
- ②良質で消化率の高い飼料を与え、必要に応じてビタミンやミネラルで栄養不足を補う。
- ③冷たい水を十分飲める設備の確保
- ④畜舎内・畜体への送風、散水(冷感器具など)
- ⑤毛刈りの実施(牛)

家畜排せつ物の適正管理をお願いします

一定規模以上の畜産業を営む者は、「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」に基づき、**家畜排せつ物の適正管理が義務付けられています。**

- 糞尿・堆肥が**堆肥舎外へ露出**していたり、**雨で流出**している場合は、直ちに改善必要
- 堆肥を田畑に**すき込まず放置**している場合、地域の**栽培基準**以上に堆肥を**すき込んで**いる場合も、直ちに改善が必要

詳しくは農林水産省ホームページ「家畜排せつ物法管理基準と施行状況」をご覧ください。(QRコード右上)

また、長崎県では堆肥流通を推進するため、堆肥需給者や流通業者のリストを作成していますので、ご活用ください。長崎県庁ホームページ「**耕畜連携(マッチング)**」(QRコード右下)



令和7年度長崎・県央地域家畜伝染病防疫対策勉強会を開催

令和7年4月10、11、22日、人事異動後の新体制においても、高病原性鳥インフルエンザ、豚熱等の家畜伝染病発生時、迅速・的確な対応がとれるよう、県央振興局・農林技術開発センター・農業大学校および管内市町の職員を対象に、勉強会を実施しました。

全体的な防疫対応の内容確認に加え、作業班毎に分かれて、担当業務の流れ・改善点を検討し、家畜防疫に関する理解を深めました。



全体勉強会



作業班毎の個別勉強会

令和7年度職員紹介

所長



県央振興局農林部
副部長〈参事監〉
松 森

衛生課



衛生課長
豊 田

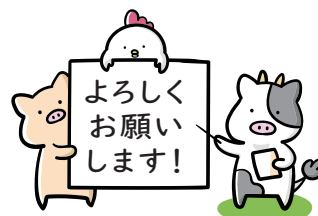


会計年度任用職員
久 松

指導班



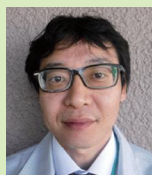
専門幹
山 崎



防疫課



防疫課長
三 浦



専門幹
下 條



専門幹
峰



係 長
山 本

肉牛酪農班

養豚養鶏班

令和7年度
新規採用職員



専門幹
元 村



主任技師
牧 野



獣医師
堀 江



会計年度任用職員(獣医師)
大 曲

検査課

病性鑑定班



検査課長
中 島



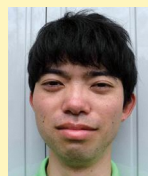
専門幹
井 上



係 長
秦



主任技師
前 田



主任技師
中 川

長崎県
畜産協会



中央支部
馬 場

お世話に
なりました



- ・ 谷山 敦 (衛生課長)
- ・ 吉野 文彦 (検査課長)
- ・ 高山 裕介 (防疫課 養豚養鶏班 専門幹)
- ・ 鬼塚 伸幸 (防疫課 肉牛酪農班 係長)
- ・ 寺山 好美 (検査課 病性鑑定班 係長)
- ・ 清浦 邦彦 (衛生課 指導班 主任技師)

- ⇒ 農林技術開発センター 畜産研究部門 大家畜研究室 専門研究員
- ⇒ 県南家畜保健衛生所 防疫課長
- ⇒ 県南家畜保健衛生所 防疫課 専門幹
- ⇒ 退職
- ⇒ 畜産課 家畜衛生班 係長
- ⇒ 退職